

開度・露出度・天空率による地形の表現

Terrains Represented by Topographic Openness, Terrain Exposure and Sky-view Factor

プリマ オキディッキ [1]; 吉田 武義 [2]

OKY DICKY ARDIANSYAH PRIMA[1]; Takeyoshi Yoshida[2]

[1] 県大・ソフト; [2] 東北大・理・地球惑星物質

[1] Faculty of Software and Information Science, IPU; [2] Inst.Min.Petr.Econ.Geol., Tohoku Univ.

近年、デジタル標高モデル (DEM) の整備が進むにつれ、地表面の勾配 (斜度) や凹凸などの地形パラメータを定量的に表現できるようになった。現在、DEM は地形判読の支援や地形自動分類にも用いられ、DEM の地形学への適用は未だ発展途上である。本研究では、DEM からの地形凹凸を表現する比較的新しい手法 (開度、露出度、天空率) を用いて地形パラメータを計算し、斜度と合わせて典型地形におけるそれらのパラメータの変動について議論する。ここで、典型地形は「日本第四紀火山地質図」(地質調査総合センター, 2005) および「日本の地形・地盤デジタルマップ」(若松ら, 2005) をもとに選定した。